

# 西村山地域における 基幹病院のあり方について

## 西村山地域の基幹病院※が抱える課題

- 類似の診療機能を有している。
- 医師・看護師など医療従事者の確保
- 施設の老朽化と厳しい経営状況
- 人口減少や高齢化の進行等に伴う医療需要の変化

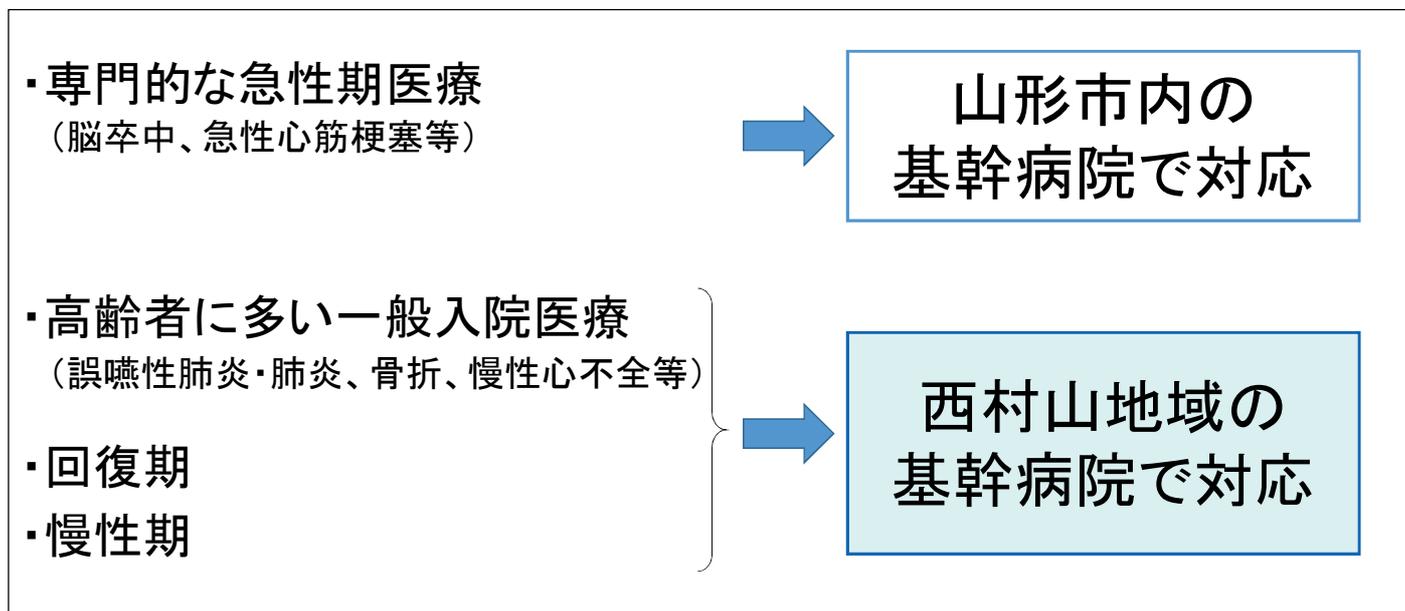
医療機能の重複と分散

各病院の経営悪化

西村山地域の医療提供体制が確保できない。  
(西村山地域の住民に必要な医療サービスを提供できない。)

※ 資料中の基幹病院とは寒河江市立病院及び県立河北病院をいう。

## 今後西村山地域で必要とされる医療機能



## 県としての考え方

今後の患者動向の見込み等を踏まえ、限られた医療資源を最大限に活用し、将来にわたって継続して医療提供体制を確保していく必要がある。



- **山形県立河北病院と寒河江市立病院を統合し、西村山地域内に新病院を設置**
- **併せて、新病院の運営母体となる新法人(地方独立行政法人又は一部事務組合を想定)の設立**
- ※ 新法人の構成団体については別途検討